

特定非営利活動法人 日本放射線腫瘍学研究機構
2007 年度総会議事録

1. 開催日時 平成19年7月30日(日) 13:00~14:30

2. 開催場所 国立がんセンター中央病院 特別会議室

3. 正会員総数 224名

4. 出席者数 128名 (うち表決委任者:56名)

5. 審議事項

(1)第一号議案 議長の選任

(2)第二号議案 2006年度事業報告・決算報告および監査報告

(3)第三号議案 2007年度事業予定および予算

(4)第四号議案 各委員会報告ならびに提案

(5)第五号議案 その他

6. 議事の経過の概要及び議決結果

(1)第一号議案 議長の選任

議長に早川和重理事が選出された。その後正会員数および出席者数が報告され、出席者が規程を満たしており、総会が成立していることが確認された。

(2)第二号議案 2006 年度事業報告・決算報告および監査報告

理事長から2006年度事業報告、決算報告がなされ、ついで監査報告書が確認された。とくに異論もなく2006年度事業報告および決算報告は原案通り可決承認された。

(3)第三号議案 2007年度事業計画および事業予算

理事長から2007年度事業予定および予算について提案がなされた。審議の結果、2007年度事業計画案および予算案は原案通り可決承認された。

(4)第四号議案 各委員会報告

1)臨床試験審査委員会

臨床試験審査委員会委員長である西村恭昌理事から臨床試験審査委員会の活動状況の報告がなされた。2006-2007年に申請された1件のプロトコルドラフトおよびフルプロトコールの審議結果が報告された。また、臨床試験審査委員会委員の提案があり、原案通り承認された。

2)効果・安全性評価委員会

効果安全性評価委員会委員長である加賀美芳和理事から、効果・安全性評価委員会細則の変更について報告があり、会員は以下の変更項目を承認した。

①効果・安全性評価委員(20名以下)はJROSGが承認した臨床試験の効果および安全性を評価する。

②効果・安全性評価委員会は必要に応じて各臨床試験の審議および審議報告書の作成、勧告を行う。

また、追加事項として、効果・安全性評価委員が以下のいずれかの立場で臨床試験に関わっている場合は、その臨床試験に関しては効果・安全性評価委員を外れることとされた。

①研究代表者・研究事務局・研究責任者

②共同研究者

③参加施設代表者

加賀美委員長から早急に各委員に継続意思確認を行う旨、報告があった。

3)施設選定委員会

施設選定委員会委員長である早淵尚文理事から、施設選定委員会の新規委員構成が提案された。また、現在副委員長である早川和重理事が新委員長となることが早淵理事より提案された。新委員長、新規委員ともに承認可決された。

4)運営委員会

運営委員会委員長である秋元哲夫理事から運営委員会の活動について報告があった。部位別専門委員会細則の変更案が提示され、改則が承認された。以下は主な変更点である。

- ①委員の任期は設けない。
- ②原則として、複数の部位別専門委員会の委員となることはできない。
- ③必要に応じて複数のプロトコール作成チームに所属できる。
- ④委員会を開催した際には議事録を作成し、事務局に報告し必要に応じて公開する。(形式は問わない。メール、メモでも可とする)。
- ⑤委員長または副委員長は理事とする。

5)教育広報委員会

教育広報委員会委員長である山下孝理事が欠席のため、理事長から教育広報委員会の活動について報告があった。ホームページを活用して会員への情報提供、広報活動を徹底し、会員増加に繋げることとされた。

(5)第五号議案 その他

1)登録施設について

現在登録施設は 71 件。その詳細(規模・所有装置数等)を調査し登録が正式に認められれば、早急にホームページに掲載し公開するべきだとの意見があった。

2)会費について

研究事業費の引き上げを行い、若手医師にメリットのある活動を行うべきだとの意見が出された。また、将来的にデータセンタが設置できるように組織の拡大を図るべく努力すべきであるとの意向が理事長から提案された。

以上をもって、総会は閉会となり、引き続き同会場にて第1回研究会、部位別専門委員会が開催された。

7. 議事録署名人の選任に関する事項

議長より次の者を議事録署名人とするとの提案があり、全員異議なくこれを承認した。

議事録署名人・中野 隆史

議事録署名人・小口 正彦

以上、この議事録が正確であることを証します。

平成19年7月29日

議 長	印
議事録署名人	印
議事録署名人	印

以上